

明生小学校(学校運営協議会・報告様式)

令和8年度 第1回 明生小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和 8 年 5 月 22 日(金) 10:00 ~ 12:00

2 場 所 会議室

3 あいさつ(委員長、学校長)

○ 5月も終盤になった。ゴールデンウィークが明けると、リズムが乱れて欠席が増えるケースがあるが、本校の子どもたちは元気に学級活動を行っている。水泳指導も始まり、この学校ではスイミングクラブでインストラクターの指導の下、一生懸命練習している。先ほども1年生が初めての水泳に手を振って出ていった。

ただ、新しい学年に慣れ、緊張感が薄れてきたのか、少しずつ友達同士のトラブルやらかきがあったり、とびだして学校に連絡が入ったり心配な様子が見られる。その都度学年で指導を行っている。少し続いたということもあり、先日生徒指導担当と校長から全校に話を行った。乱れかけた時の指導が大事。今後も継続した指導を続けていく。

今回の協議会は1年間のあの学校運営の方向性を示した学校経営の改革方針について協議を行っていただく。また学校関係者評価の指標についてもご説明させていただくのでよろしくお願いいたします。(学校長)

○今年度から担当が変わった。以前教育委員会にいたときに、早期からパトロールを立ち上げていただいた記憶がある。今年度も巡回していて、危険個所にたくさん立っていただくなど、地域の皆さんの取り組みに感謝している。本年度よろしくお願いいたします。(コミュニティ・スクール推進アドバイザー)

4 協議内容

(1) 令和8年度 学校経営の改革方針について(学校長)

- ・学校教育目標、目指すこども像は、変えていない。
- ・学校と家庭地域が連携して、それぞれの立場から建設的な意見を出し合って学校の諸問題を解決していくということ、教職員が自己研鑽に励んで指導力を高めていくということが大きく、2つの柱になっている。

(学力向上)

- ・友達の意見は聞けるが、自分の考えと相手の考えの類似点や違うところをじっくり考えたり、自分の考えを周りに広めたり、対話を通して新しい視点を得たりする姿があまり見られなかった。対話はしているけど、中身が深まっていかなかったということを課題としてとらえている。ICT 機器の効果的な活用方法を取り入れていくことも課題になっている。

(不登校対策)

- ・昨年度まで長期欠席児童に対して全職員で児童の様子を共有しながら保護者との関係

づくりに務めてきた。ほっとルーム、スクールライフサポーターを有効に活用していく。

(人権教育の充実)

- ・カリキュラムに基づいた人権学習。特別支援教育の児童理解。多文化共生教育。
- ・今年度は授業参観で人権教育に関する事業を公開したり、学校だよりで発信したりするなど、保護者への啓発を行っていく必要があると考えている。

(校区及び地域連携と協働について)

- ・学校運営協議会、地域協働活動委員会と連携して学校の教育活動や環境整備、児童の見守り活動等を推進してきた。今年度も学校地域 PTA の三者の共同を大切にしていく。

(信頼される学校と働きやすい職場づくり)

- ・教職員の時間外労働時間の削減と平均休暇取得日数の増加が課題。

(意見)

- ・教職員の時間外労働時間の削減はなかなか難しい課題だ。どんな方策をとっているか。
→定時退校日の設定、ICT の活用、ペーパーレス化による会議時間の削減。学期初めと終わりの午前授業の設定、スクールサポートスタッフの活用など。
- ・AI の活用は始まっているのか。
→市としてワーキンググループの設置など動き出したところ。ガイドラインの設定がされ、これからの取組。
- ・TT とは何か？
→チームティーチング。複数の教員で授業を行う。
- ・非認知能力について。学校だけで育てていくのは難しい。生きていく力に直繋がるもの。
→家庭と学校と地域と三者でつけていかなければならない力。鈴鹿市では、そのうち 4 つの指標を設けている。やり抜く力と自制心、社会性、自己肯定感。学校の中でも研修や生徒指導と関連付けて取り組んでいる。
- ・学力パワーアップ習慣など、学校はいろいろ取り組んでいる。自学ノートを張り出してもらったりほめてもらったりするのをこどもは喜んでいる。図鑑で調べたり AI に聞いて調べ学習をしたりするなど、張り切って取り組んでいる。
- ・何気ない声かけとか何気ない関わりがすごく大事だと思う。例えば家庭でもちょっとこどもがお手伝いしてくれたら「ありがとう」って「すごく助かるわ」とか何かこどもがいいことした時に「すごいね」ってというような言葉を言うか言わないかだけでも変わってくる。
- ・今 AI は便利ですごくスピーディで仕事は早くできるが、間違ったらとんでもないことをやってしまう可能性はあるもので、その判断の良し悪しを決めるのは人間で、人間教育をちゃんとしておかないと大変なことになっていく。

【学校経営の改革方針、承認】

(2) 令和8年度 学校配当予算について(教頭)

- ・昨年度と大きく変わりはない。いろいろな場面で工夫、節約してやりくりしていく。

(3) 学校関係者評価について(学校長)

- ・皆さんには①学力向上×ICT 活用②長期欠席対策③地域連携④非認知能力の育成⑤

人権教育の推進の5つのカテゴリーについて評価していただきたい。年度末に最終的な評価をお願いします。

(意見)

・なかなか評価が難しい。学校全体や学級での目標、取組が具体的にわかるとよい。

(4) 令和8年度 明生小学校学校運営協議会の取り組みについて

- ・日程の提案
- ・年間の会議の見通しと説明。
- ・今年度の学校のスタッフについて
- ・年間行事予定について
- ・サマースクールについて
- PTA の家庭教育学級と共催
- ・地域協働活動委員会
- 新しいメンバーへの活動説明

5 アドバイザーより

- ・前任者から聞いていた通り、一人一人の委員さんが活発に子どもたちのことを考え協議していただいていた。このまま続けていただければと思う。
- ・非認知能力の育成については、研修部ではやり抜く力を、自制心を養っていくってということについては生徒指導部と、職員を効果的に活用されているところでも、勉強になった。
- ・子どもたちに何かさせるときに、ほめる、目的をもたせる大切さ。子ども同士で認め合う場面は、学校では難しいこともあるので、こうした場で教えていただけるとありがたいし、地域協働活動としてもさらに良いものになる。
- ・地域協働活動委員会も回と活発にされている。ぜひ、回があれば絵をかけていただければ出席したい。